

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット17頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《山屋館経塚(紫波町山屋字山口)③》

4基の経塚の中で4号経塚が最も古く、1～3号はそれより新しい時期の構築と判断されています。1～3号も同時に構築されたものではなく、時期差を持って順次構築されたものと推測されます。同じ系統の施主が、長期間にわたって、同一の場所に、経塚を構築したと解釈できる状況で、その施主に最も相応しいのは比爪系奥州藤原氏と考えられます。

比爪館からみた山屋館経塚の方位は、E-30°-Nで、太陽暦の6月21日頃、つまり夏至の頃の日出方位です。

《《《 1月～2月行事予定のお知らせ 》》》

1月16日 (水曜日)	第98回月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者：高橋敬明 テーマ：鎌倉時代の紫波 5 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡と奥州平泉 15
2月20日 (水曜日)	第99回月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者：宮良男 テーマ：日本の仏教 4 発表者：石幡信 テーマ：紫波郡の城館 4

お知らせ

◇ 花巻市埋蔵文化財講座「花巻の遺跡を学ぶ会」 主催/花巻市教育委員会

演題：万丁目遺跡で発見された中世居館跡の概要について(仮題)

講師：山川純一 (公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)

日時：平成31年1月19日(土) 13:30～16:30 会場：花巻市生涯学園都市会館(学び学園)

◇ 紫波町民劇場第7回公演 主催/紫波町民劇場 共催/紫波町教育委員会

今日よりは紫波と名づけん— 高水寺城の夢 **斯波氏物語**

日時：平成31年2月24日(日) 午前の部10:00～ / 午後の部14:00～ 会場：中央公民館

●●●●●●●●●● 設立10周年記念行事 ●●●●●●●●●●

☆ 北九州市の樋爪様からのお便りと情報(紙面の都合上ほんの一部です。)を紹介します。

—前略— 来年7月7日開催のサミットには、参加できませんが、貴懇話会の益々のご発展、並びに樋爪氏の末裔について情報が増えますことを、お祈り申し上げます。

[追記] ネットで得た情報をお知らせします。

① 北辰一刀流千葉重太郎の弟子に、因幡鳥取藩の「樋爪弥五郎」がいる。

② 京都府伏見区・埼玉県川口市・福井県吉田郡の市町村合併前には、「樋爪村」があった。

なお、伏見区淀樋爪町には、「樋爪会館」がある。

③ 明治29年に、「樋爪伊太郎」が能登商船会社を創立、同33年には「樋爪商会」云々とある。

12月2日、赤石公民館を会場に第21回定期講演会を開催。講師は、本年度の南日詰大銀Ⅱ遺跡の調査を担当した岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの西澤正晴氏。演題は「樋爪氏関連遺跡の調査」でした。会員外の参加14名。詳細は下記の岩手日報記事をご覧ください。

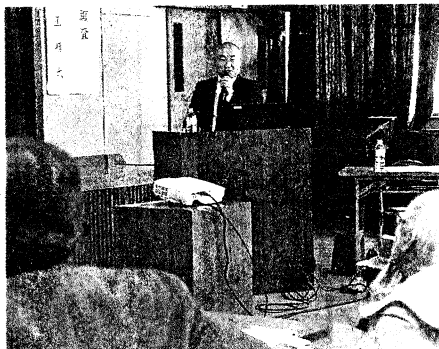
岩手日報 2018年(平成30年)12月4日(火曜日)

文化

比爪氏が栄えた時代の背景解説

紫波町で講演会

紫波町の歴史を学ぶ住民組織、ひづめ館懇話会(高橋敬明会長)は2日、同町日詰駅前1丁目の赤石公民



比爪氏関連遺跡の発掘調査状況について講演する西澤正晴さん

館で第21回定期講演会を開き、県埋蔵文化財センター専門調査員の西沢正晴さんが、同町内の比爪氏関連遺跡の発掘調査状況や今後の展望について講演した。

会員ら約40人が聴講した。奥州藤原氏の流れをくむ比爪氏は同町南日詰の比爪館を拠点に栄えたとき、12世紀、平泉に匹敵す

る勢力だった可能性が指摘されている。

西沢さんは比爪館跡と南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ、2015年度から本年度まで調査した大銀Ⅱ、本年度から本格的な調査を始めた北条館跡の4遺跡について解説。比爪館跡と小路口Ⅰ・Ⅱの遺構が示す方位の共通性から、広範囲にわたる都市計画の可能性を指摘した。

大銀Ⅱについては、隣接する小路口との関係性や存続年代の解明を今後の課題として提示。比爪館跡の東、北上川西岸に位置する北条館跡からは、戦国期の城館跡とみられる遺構の他に大量のかわらけや土坑、溝跡

など12世紀のものも出土したことを報告し「少なくとも比爪館から北上川まで12世紀の遺構が広がっていたことが確認された」と重要性を指摘した。

- ◆ 設立10周年記念事業準備委員会各班の現況
 - 各班のスタッフ会議を開催又は予定しています。協議事項は、担当業務内容、スタッフの増員、作業スケジュール等です。
 - ◇ 12月19日(水)
 - 10:30～会場整備係
 - 14:00～受付案内係
 - ◇ 12月27日(水)
 - 15:00～企画調整係
- ◆ 第1回幹事会を12月27日(水)の15時40分から開催
 - 記念行事班に所属する上記の3係と、記録写真係・シンポジウム係・サミット係のスタッフと業務スケジュール等を確定し、

年明けから各係の本格的活動が始まります。他の記念研修旅行班・記念講演班・記念資料集班も、幹事会で順次決定しますので、ご協力願います。なお、スタッフに入る入らないにかかわらず、会員の一致協力態勢が必要ですので、ご理解ご支援をお願いします。